

自ら知を磨き 徳を高め 体を鍛える 児童の育成



風の子

涌谷町立涌谷第一小学校
学校だより No.7
平成30年7月10日(火)
文責・教頭 山田

よい伝統をつないで

朝会の様子から

梅雨とは名ばかりで、例年になく蒸し暑い日が続いています。それでも、子供たちは毎日元気に学校生活を送っています。夏休みまであと少し。各学級では学習や生活のまとめを行っているところです。

さて、毎年7月1日は涌谷第一小学校の開校記念日です。今年度は、日曜日にあたったため、6月29日(金)の朝会で、千葉校長が子供たちに話をしました。



あさって7月1日は、学校の誕生日です。

皆さん一人一人に誕生日があるように、学校にも誕生日があります。7月1日は涌谷第一小学校の誕生日です。今年で146年目、明治6年生まれの145才になります。明治6年と言うと、皆さんのおじいちゃん、おばあちゃんのそのまたおじいちゃん、おばあちゃんが生まれた頃でしょうか。

当時は、校舎はまだなく、光明院(お寺)をお借りしながら学校をスタートしました。

長い歴史の中で、名前も変わってきています。

明治6年、光明院で学校が始まった頃には馬場谷地小学校。明治19年には涌谷尋常高等小学校男子部。女子は、今の月将館小学校にあたる涌谷小学校で勉強していました。この頃は、男子と女子が別々に勉強していたのです。

その後、明治33年涌谷尋常高等小学校。昭和16年涌谷国民学校。昭和22年涌谷町立涌谷小学校。翌年の昭和23年に、今の名前である涌谷町立涌谷第一小学校となったのです。

涌谷町内には、明治6年に開校した学校がほかにもありましたが、学校が統合されて新しい学校になり、146年目となるのは、涌谷第一小学校だけです。

この間、たくさんの方がここで勉強してきました。最も多かったのは、昭和21年の1,886名です。6年生だけで、今の全校児童より多い434名だったそうです。今までの卒業生は、なんと13,819名にもなります。

私たちの涌谷第一小学校は、たくさんすばらしい先輩が学んだ歴史と伝統がある学校です。こんなすばらしい学校で学ぶことができることに、どうか自信をもってください。涌谷第一小学校の子供であることに、誇りをもってください。

伝統を引き継ぎながら、涌谷第一小学校の新しい歴史を創っていくのは皆さんです。どんな学校にしていきたいと思いますか。今日の日を、そして毎日毎日を大切に、よい学校になるようにみんなでがんばりましょう。



【歴史ある涌谷第一小学校です】



【前の校舎を描いた大きな絵】

その後、計画委員会による「学校クイズ」をしながら、子供たちは開校記念を祝いました。よき伝統を引継ぎながら、学校を大切にする気持ちをこれからも育てていきたいと思ひます。

毎年春に、全国の小学6年生を対象にした「全国学力・学習状況調査」が行われていることは保護者の皆様もご存じのことと思います。そのほかにも、追跡調査として「保護者に対する調査」も行われています。それらの結果を基に、国では様々な分析をしています。

今回、その分析結果が文科省から公表されました。保護者の皆様にも伝えたいと思います。



「家庭の社会経済的背景 (SES)」と学力についてですが、「SES が高い児童生徒の方が各教科の平均正答率が高い傾向にある」とのことです。

しかし、面白いのは、『「非認知スキル」と SES の間には、あまり相関が見られない』ということです。

「非認知スキル」とは、次の8項目になります。①ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある。②難しい問題でも、失敗を恐れなくて挑戦している。③自分にはよいところがあると思う。④友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。⑤友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。⑥友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができる。⑦学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いを付けたりして話し合い、意見をまとめている。⑧学級もみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

これら「非認知スキル」は、SES とはあまり相関が見られないのだそうです。

また、こう述べられています。「SES の高低にかかわらず (SES が相対的に低い場合でも)、「非認知スキル」を高めることができれば、学力を一定程度押し上げる可能性がある。(ただし、今回の分析では両者の間にゆるやかな相関があることが確認できたにすぎないため、この可能性がどの程度確かなのかはさらなる検討を必要とすることに留意)」

さらに、「保護者の適切な働き掛けは、SES の高低にかかわらず、子供の『非認知スキル』を高める傾向があり、小学生で強い影響がある。」とのことです。

主な保護者の働き掛けとして、次の例が挙げられています。

- 子供のよいところをほめるなどして自信をもたせるようにしている。
- 子供に努力することの大切さを伝えている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 毎日子供に朝食を食べさせている。
- 地域社会などでのボランティア活動等に参加するよう子供に促している。

公表の一部を基に、紹介しました。このほかにも、子供の学力には様々な要因が重なっているようです。学習意欲を育てる接し方を大人 (学校・保護者) が心掛けることで、子供の意欲を伸ばし、力を付けることができるかもしれませんね。

お知らせ

- ① 支援員の戸澤 恵子さんが、7月1日付けで退職されました。今まで子供たちのために関わっていただきありがとうございました。
- ② 本年度のプール監視員は、次の3名になります。
 - ・ (保護者) ・ (大学生) ・ (高校生)
 子供たちのプールでの安全管理のために、よろしくお願いします。
- ③ 本年度から道徳は「教科」になっています。道徳の教科書を夏休み前に持ち帰らせます。ぜひ、新しくなった道徳の教科書をご家庭でもご覧いただきたいと思います。

なお、教科書は、個人面談の日に持ってきてくださるようお願いいたします。
- ④ 暑い日が続いています。各教室に扇風機を1台置いています。それでも教室内が暑くなっています。ご家庭で、使わなくなった (余っている) 扇風機がございましたら、ぜひ学校までお知らせください。
- ⑤ 7月20日 (金) の下校時刻について、学校だよりに誤りがありました。再度お知らせします。

(誤) 下校全学年 15:25 → (正) 下校全学年 13:45

